

有限会社共栄小林:BCP(事業継続計画)の概要

策定日 2021.12.1

事業継続計画(BCP)を策定するにあたり、事前に準備すべき4つのポイントと災害発生時の復旧フローは以下の通りです。

1: 平時における事前準備(4つの重要ポイント)

平時の備えとして、以下の①～④のポイントを確実に実行します。

①構造確認と保険の把握:

事務所の耐震構造や揺れに耐えうる構造の確認や古い部材がある場合は改修を行い、同時に加入している火災保険の内容も把握しておきます。

②リスクの把握と訓練:

甲斐市ハザードマップの更新を取り寄せ、事務所周辺のリスクを把握し、年1回の防災訓練の実施や避難先、事務所の想定被害の確認を行います。

③オフィス内の安全確保:

棚、キャビネット、デスクトップ型PCなどの転倒防止を講じ、キャスター付きの大型OA機器も固定を徹底します。

④運転資金の確保:

収入減少などの不測の事態に備え定期預金等で1か月程度の事業運転資金(自己資金)を確保しておく必要があります。

＜弊社の姿勢とお客様への発信＞

災害発生時から復旧までの流れを意識し、保険会社や関係各所と連携・情報更新を絶やさず、お客様への迅速な情報発信を行っていくことが弊社の重要な責務であると考え、平時よりその体制を整えます。
(共栄火災海上保険株式会社KPCネットワーク「連携型BCP」加入日2025.11.1)

2: 災害発生時の3つの復旧ステップ

実際に災害が発生した際には、3つのステップで復旧を目指します。

①第1ステップ「被害状況の確認」

従業員の安否、物的被害、システムなどの基盤被害を確かめます。

②第2ステップ「代替手段での応急処置」

不足している人員や設備を代替できる仕組みを構築し、体制が整い次第、代替システムへと切り替えます。

③第3ステップ「平常操業に戻す復旧作業」

施設や設備などのハード面と、サーバーやネットワーク構築などのソフト面の両方を復旧させ、平常時へと戻していきます。

3: 計画の継続的改善

毎年定期的に、取組状況や点検結果の報告を行い、BCP全体の見直しを実施します。